

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	こどもと体育Ⅰ	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	15時間
単位数	1単位	授業形態	演習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	前嵩西珠世		実務経験の有無・職種	有・スポーツクラブこどもスクールインストラクター	
学習目的					
保育者として備えるべき基本的運動遊びを中心に、子どもが安全に、楽しく運動遊びできる指導方法とその援助の方法について学ぶ。 こどもの運動遊びは、訓練的にならずこどもたちが能動的に取り組み、多くの体験ができるような環境を設定することが大切である。多くの運動遊びの指導法を習得し、年齢や環境に応じた指導ができるとともに、こどもの発育発達に則した運動遊びの指導法を身につける。					
到達目標					
◎到達目標： 1.こどもの発育発達に則した運動能力を理解し、年齢にあった運動遊び（集団遊び・競争遊び・素材を使った遊び・用具器具を使った遊び）を考案し指導ができる。2.遊具の安全性について認識を深め、こどもたちが安全に遊べる指導ができる。					
教育方法等					
授業概要	子どもの運動遊びの必要性や発育発達段階を理解しながら学び、安全に楽しく運動遊びを実施するための指導方法と援助方法について学ぶ。具体的には、こどもの発育発達に即した運動能力を理解し、年齢にあった基礎的な運動として、歩・走・跳・押・引・転・登・投などの動作、発育に合わせたグループ遊び、こどもの体操や器具、安全管理について学ぶ。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。講義開始時間は厳守。開始後10分までは遅刻、それ以上の遅刻は欠席とみなす。ただし、受講は可能。保育者として運動するにふさわしい服装にて参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業では実技的活動だけでなく、毎回の課題である記録ノートを期限内に提出すること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
	実技試験	30%	保育に必要な運動実技の基礎が身についているか確認するために実施する		
	課題	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
授業計画（1回～8回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	幼児の運動遊びの必要性について		幼児の運動遊びの必要性について考え、その環境作りや言葉かけを学ぶ		
2回	用具を使わない遊び①		こどもの体操・集団遊び・他		
3回	用具を使わない遊び②		おやこ体操・他		
4回	操作性遊具①		短なわ・長なわ・フープ・他を使った遊び		
5回	操作性遊具②		ボール・他を使った遊び		
6回	移動遊具①		平均台を使った遊び		
7回	移動遊具②		マットを使った遊び		
8回	指導上の留意点、安全管理、まとめ		授業の振り返り、まとめ		
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					